

小中連携だより

比布町立中央小学校
比布町立比布中学校
発行：2019年9月30日
第1号

小中一貫教育の充実のために

比布町教育研究所長 富居 充孝

比布町の小中一貫教育は、上川管内の中でもかなり進んでいるといわれています。私もその通りだと思います。小中の教育課程の編成や見直しを毎年進め、指導系統表では各教科等の9年間の学習活動の流れをつかむことができます。ほかにも、乗り入れ授業や出前授業、小中合同の行事など充実した取組が行われています。また、3つのチームによる事業や合同での研修会もあります。

このように、すばらしい実践を進めている比布町の小中一貫ですが、私が特に重要であると感じているのは、小中の教職員の交流です。小中一貫の学校とはいえ、互いに異校種の学校であり、関わりにくさを感じてしまいます。互いにわからないことが多いものです。そのような中でも、子どもの様子や先生方の動き、学校の仕組みなど、今まで気づきもしなかったことに触れ、理解と関心を深めることで、小中連携・一貫への理解と義務教育の質の向上につながるものと思います。

これまで推進してきた事業をそのまま踏襲するのではなく、取捨選択したり補足強化したりしながら、これまで以上に、比布の子どもたちにとって有効な小中一貫教育のあり方を追求してまいります。

●小中合同避難訓練

5月10日(金)に小中合同避難訓練を実施しました。中学校が移転して、小中の校舎が並んだ形での初の試みでしたが、小中学生はスムーズに避難することができました。

この訓練を実施して、放送設備が小中で別々なので、避難指示の放送に若干のズレが生じるという課題が浮き彫りとなりました。それを踏まえた上で、生徒たちが安全・安心して避難することができるように対策を立てています。

今回、こうして確認できたことが、いざという時に非常に役立つので、とても良い機会となりました。



●小中合同挨拶運動

6月4日(火)～11日(火)には、挨拶運動を小中合同で行いました。朝からさわやかな挨拶が聞こえていました。



●小中学校教員同士の交流

6月17日(月)に小学校6年生の算数の研究授業がありました。この時、小学校だけでなく、中学校の先生もたくさん参観し、児童の様子や算数の教育課程、授業についてなど、さまざまな視点での小中学校教員の交流につながりました。

また、今年度は、小学校6年生と中学校1年生の担任同士で、学級通信の交流も行っていきます。小学校には、中学1年生の通信を、中学校には、小学校6年生の通信を、それぞれ職員室内で回覧して見ていただき、お互いの児童生徒の様子を発信するようにしています。

さらに6月12日(水)、9月11日(水)には、小中合同研修会を行いました。これは、年3回、小学校と中学校の教員が一堂に会して、よりよく小中が連携していくために同じテーマで勉強するものです。

1回目は、中学校の校舎が移転してきたことの成果と課題を洗い出し、これからの教育活動に生かす方法を検討したり、小学校と中学校の研修内容を交流したり、CRT 検査結果を学んだりしました。

2回目は、生徒指導チーム、学習チーム、研修チームそれぞれの活動報告をする中で、中1ギャップに関するアンケートや全国学力学習状況調査分析結果などを学んだり、ICT教育にかかわる研修を行ったりしました。

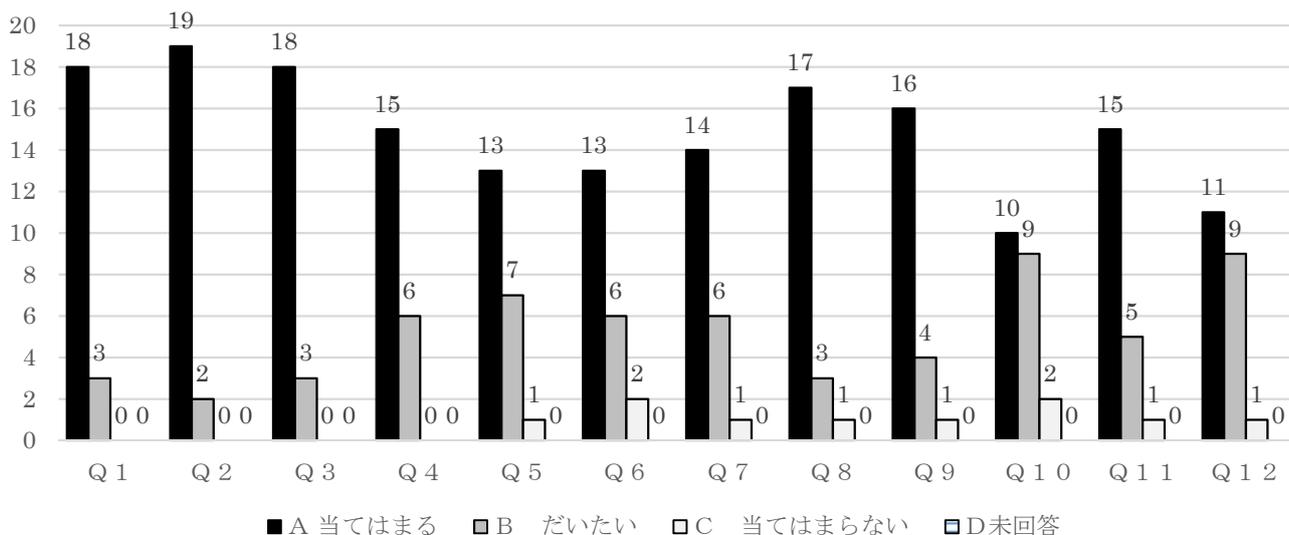


●中1ギャップに関するアンケート結果分析

中学校1年生を対象に5月、中学校生活についてのアンケートを実施しました。その結果と分析を紹介します。

【学習面】

| | | | |
|----|------------------------|-----|-------------------------|
| Q1 | 授業時間「50分」の授業に慣れた。 | Q8 | 数学の授業に慣れてきて楽しい。 |
| Q2 | 教科ごとに先生が変わることに慣れた。 | Q9 | 楽しいと感じる授業が多い。 |
| Q3 | 教科ごとの決まりや授業のルールに慣れてきた。 | Q10 | 小テスト・単元テストなどのテストに慣れてきた。 |
| Q4 | 授業の進む速さや授業の進め方に慣れてきた。 | Q11 | 小学校の頃よりも、成績や評価のことが気になる。 |
| Q5 | ノートのとり方や使い方に慣れてきた。 | Q12 | 家庭学習に計画的に取り組むことに慣れてきた。 |
| Q6 | 宿題や提出物の量に慣れてきた。 | Q13 | その他(記述) |
| Q7 | 英語の授業に慣れてきて楽しい。 | | |



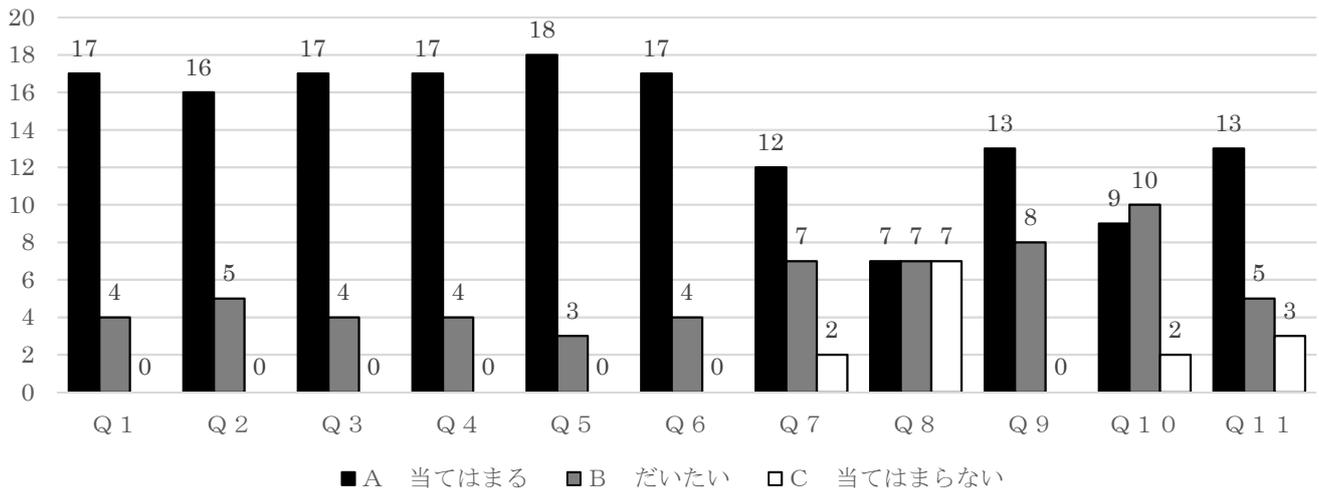
分析

○21名、ほとんどの生徒が「中学校生活に慣れてきている」と読み取れる回答結果である。30年度と比べ、生活体験は1日減ったが、積み重ねてきたことへの効果はあるものと思われる。

●5月時点で、「テストへの対応の仕方」「家庭学習への対応の仕方」に不安を感じている生徒が半数近くいた。中学校では年度初めに「学習の手引き」を発行しているが、各教科でも学習方法について説明を丁寧に行うことで、少しずつ不安も解消されている。

【生活面】

| | | | |
|----|-------------------------------|-----|----------------------------------|
| Q1 | 制服やジャージの着用、着替える回数が多いことに慣れた | Q7 | 部活動が増えたが、家で自由に過ごす時間は確保できている |
| Q2 | 中学校の生活の決まりについて慣れてきた | Q8 | 友だちとの関係やクラスの間人間関係が変わってきていると感じている |
| Q3 | 中学校のあいさつや言葉遣いに慣れてきた | Q9 | 中学校生活は充実していると感じる |
| Q4 | 部活動や学校生活の中で、上級生との関係に慣れてきた | Q10 | 中学校では疲れると感じることが多い |
| Q5 | 中学校の先生の話し方や先生に対する接し方について慣れてきた | Q11 | 中学校生活は、小学校の頃イメージしていた通り楽しい |
| Q6 | 勉強道具など学校に持っていくものが多くなったが慣れてきた | Q12 | その他(記述) |



【Q12記述内容】 なし

分析

○体力的な部分で疲れを感じている生徒もいそうだが、生活に対しては多くの生徒が慣れていていると感じているようである。

○Q5「先生とのかわり」では、多くの中学校教員が乗り入れ、出前、生活体験で多少なりとも面識を作っていることが寄与していると考えられる。

●部活動の開始などに伴ってだろうか、「人間関係の変化」を感じている生徒が「だいたい」を含めると半数を超えているため、注視が必要である。

●乗り入れ授業・出前授業

小中連携の取組の軸として、乗り入れ授業や出前授業を行っています。中学校の教員が小学校の児童との交流を深めて中学校入学後へとつなげたり、小学校の教員が中学校入学後の生徒の様子を把握したりすることをねらいとしています。今年度の取組は下記の表の通りです。

【乗り入れ授業】

| 対象 | 教科 | 曜日 | 小中 | 先生名 |
|----------|------|-----|----|------|
| 小学校6年生 | 算数 | 毎日 | 中 | 神谷先生 |
| 小学校5・6年生 | 英語 | 水・金 | 中 | 齋藤先生 |
| 中学校全学年 | 授業支援 | 木基本 | 小 | 裏野先生 |



【出前授業】

| 対象 | 教科 | 時間 | 小中 | 先生名 |
|--------|----|----------|----|------|
| 小学校4年生 | 社会 | 7月22日(月) | 中 | 柴田先生 |
| 小学校5年生 | 算数 | 7月23日(火) | 中 | 山崎先生 |
| 小学校4年生 | 美術 | 12月予定 | 中 | 東先生 |
| 小学校5年生 | 社会 | 12月予定 | 中 | 梶田先生 |
| 小学校4年生 | 数学 | 1月予定 | 中 | 玉置先生 |
| 小学校5年生 | 体育 | 1月予定 | 中 | 佐藤先生 |



*上記に名前のない中学校教員も、10月3日に行われる「中学校生活体験」(6年生対象)で授業を担当し、全員が小学生と関わるができるようにしています。

【出前授業を行った山崎先生の感想】

今回は、中学校での「数学」の授業とのつながりを意識して授業を行いました。子どもたちは積極的に授業に参加し、授業中の気づきから学習内容をさらに深く考えることもできたので、とても充実した時間を一緒に過ごすことができました。



【出前授業を行った柴田先生の感想】

今回は、小学校4年生の皆さんに都道府県に関するクイズを出し、グループごとに回答することをメインに授業を行いました。意外な都道府県がナンバーワンだったり、ワースト1位だったりすることに子どもたちが驚いていて、お互いにとても楽しかったと思います。少しでも、都道府県に興味をもってもらえていたら幸いです。

【出前授業を受けた児童の声】

4年生（社会）

- ① 中学校の先生の授業を受けてみて、どんな感想を持ちましたか。
- かわった問題を出してくれて、楽しく勉強ができた。
 - もう1回授業を受けたい。理由はとっても楽しくて、クイズもおもしろかったから。
 - むずかしい問題があって楽しかった。むずかしくてできなかったところをやりたい。
 - もう1回受けてみたい。理由は都道府県をクイズやゲームにしてくれるから。
 - クイズやグループの行動などが楽しかった。なのでもう一度授業をしたい。
 - たくさんクイズとか、今までにやったことのない授業だったから、またやりたい。あと、工夫とかもして楽しかった。
 - むずかしい問題が出たけれど、あたったら嬉しいし、間違えても答えが分かり、びっくりしたこともある。
 - 楽しかった。理由は都道府県をクイズ混じりでやっていて、楽しかった。
 - おもしろかったし、くわしいことが分かったし、教科書にのってないことも分かったのでまた受けたい。
 - クイズを出してもらいながら授業をやって、楽しかったし、いろいろなゲームを考えてくれてうれしかった。
 - まだ習っていない都道府県がセットで分かりました。またたくさん授業してもらいたいです。
 - いろいろなクイズでたくさん正解できたから楽しかったです。今度もし来るなら、全問正解したいです。
 - クイズとかで楽しみながら色々な事を覚えられたし、また新たに知りたいことが増えて、もっと教えてほしいと思った。
 - とても楽しくて、いっぱいパソコンなどで調べているのがいいと思うし、私たちのために色々用意してくれてとてもありがたい。
 - もう一回受けたいと思いました。理由はクイズをやりながら都道府県を楽しく覚えられたので、もう一回受けたいと思いました。
 - 楽しかったです。なぜかという、覚えられるし、クイズでやると心に残り、楽しく県を覚えて、その県が何が有名かも覚えられるからです。
- ② 3年後の中学校の授業に対して、どんなイメージがありますか。
- (1) 不安がある。 (13) 楽しみである。
(7) まだよくわからない。
- ③ 中学校の先生方に対して、どんなイメージがありますか。
- 〈複数回答可〉
(3) 怖い (15) 優しい (11) 親しみやすい
(16) 話しかけやすい (18) 楽しい (5) 厳しい
- ④ 中学校の先生の出前授業を、また受けたいですか。
- (20) また受けたい。 (0) 受けたくない。
(1) どちらでもよい。

5年生（算数）

- ① 中学校の先生の授業を受けてみて、どんな感想を持ちましたか。
- やり方の説明がいつもとちがって、深められたのでうれしかったです。
 - 先の話をしてくれて、勉強になりました。楽しかったです。
 - 分かりやすく、楽しかった。これからも続けてほしい。
 - おもしろく授業できたし、分かりやすかったです。
 - 分かりやすく、早くできた。算数が少し好きになった。
 - 楽しくおもしろくやってくれるから、安心感があつた。
 - 一歩上の授業を受けたような感じがした。
 - 楽しい。また来てほしい。おもしろかった。中学校が楽しみ。
 - ぼくは授業が効率よく進んだので、最後のおまけ問題も楽しくできました。
 - たのしかったし、もっとやりたい。
 - 最初はどきどきしたけど、説明が分かりやすかったのでとても楽しかったです。
 - 楽しく授業できてうれしかった。
 - とても分かりやすかった。授業が楽しく覚えられた。
 - 楽しくて分かりやすかった。中学校の勉強が楽しみだった。
 - 3回目だからもう慣れたし、やりやすかったのでよかったです。
 - もう1時間やりたかったし、新しいことを覚えたので楽しかったです。
 - 分かりやすいし、楽しかったです。
 - ぼくは出前授業が好きなので、早く中学校に行きたいと思いました。
 - 早口でよくわからなかった。でも、教えるのはいいので分かりやすかった。
 - 先生が、中学校での授業につながるって話から、中学校での授業が楽しみになった。
 - 分かりやすく私に教えてくれたので、うれしかったです。早く黒板に字を書いてくれたので、よかったです。
 - 中学3年生の勉強のイメージを持つことができたし、算数の授業も楽しかったので、また一緒にやりたいです。
- ② 2年後の中学校の授業に対して、どんなイメージがありますか。
- (6) 不安がある。 (10) 楽しみである。
(6) まだよくわからない。
- ③ 中学校の先生方に対して、どんなイメージがありますか。
- 〈複数回答可〉
(2) 怖い (16) 優しい (11) 親しみやすい
(13) 話しかけやすい (15) 楽しい (3) 厳しい
(1) 話しかけづらい
- ④ 中学校の先生の出前授業を、また受けたいですか。
- (17) また受けたい。 (0) 受けたくない。
(5) どちらでもよい。